



丹波県民局からのお知らせ

丹波版の問い合わせは ▶ 丹波県民局県民交流室総務防災課へ
〒669-3309 丹波市柏原町柏原688

☎0795-73-3719 ☎0795-72-3077

ホームページ 丹波県民局
柏原総合庁舎 ☎0795-72-0500(代表)

困ったとき、まずは[さわやか県民相談]へ
☎0120-32-7830(携帯電話からは代表番号へ)
【受付】平日(祝日等を除く)9時～17時30分

地域の力を結集して

丹波大納言小豆の魅力も再発見



粒の大きさと味の良さで知られる丹波大納言小豆。その良質な素材を生産する1次産業(農業)と2次産業(製造業)、3次産業(販売業)を掛け合わせて新たな付加価値を生み出す6次産業化の取り組みが進んでいます。

☎丹波農業改良普及センター ☎0795-73-3804 ☎0795-72-4063

実践型講座で丹波大納言小豆を新しい姿に

丹波県民局では農業者が1次産業だけでなく、2次産業、3次産業まで関わる6次産業化を支援するため、「6次産業化ステップアップ講座」や個別相談会を開催。商品の磨き上げや販路拡大のノウハウなどを学び、農業の可能性を広げる機会を設けています。

受講者の声

自慢の小豆を全国に届けたい

丹波大納言小豆生産振興会長
なかで農場合同会社(丹波市) 中出 靖大さん

土からこだわって作った小豆をより多くの人に味わってもらいたいと思い、6次産業化に挑戦しています。講座を受けてお客さんに商品を手に取ってもらう姿を想像しながら、技術を持った製造事業者とアイデアを形にすることができました。今後も新しい小豆の楽しみ方を考え、商品を届けていきたいです。



地元の加工業者、
乳業メーカーと
一丸となって開発

たっぷりの小豆と地元産もち米・コシヒカリのバック赤飯

粒のしっかりした小豆と地元産ミルクのジャム

「丹波の赤鬼」を
掛け合わせた
パッケージは
地元高校生と考案

▲道の駅「丹波おばあちゃんの里」やオンラインショップ、丹波地域の郵便局(赤鬼飯のみ)で購入可能

新たな動きも続々

小豆の活用の動きは食品業界の枠を超えて波及。丹波サイクリング協会でも、なかで農場の協力を得て、スポーツなどを頑張る際のモチベーションを上げる補給食を開発中。クラウドファンディングで地域内外から支援を集め、商品化を目指します。



▲開発が進む1口サイズの「スポーツようかん」

「食」を通して地域を活性化

自分で炊くには一手間かかる丹波大納言小豆が、魅力的な加工品となって地域振興につながっています。農業の可能性を広げられるよう、引き続き農業者の皆さんを支援していきます。



丹波農業改良普及センター職員
小原 万由子

インフォメーション

イベント等は延期・中止
の場合があります

経糸・緯糸 想いを乗せて… JR加古川線利用促進ウィーク

西脇市と県立西脇高校の生徒、県立繊維工業技術センターが協同製作した播州織による中つり広告が、JR加古川線(「加古川」駅～「谷川」駅)の全車両に登場し、加古川線への思いを伝えます。10月5日(土)～18日(日) 西脇市都市経営部まちづくり課 ☎0795-22-3111 ☎0795-22-1014

兵庫陶芸美術館2023 秋のおもてなしミュージアムマルシェ

10月5日(土)～22日(日)「第46回丹波焼陶器まつり 秋の郷めぐり」に合わせ、旬の味覚市、クラフト市、体験市などを開催します。10月15日(日)、22日(日)10時～15時 兵庫陶芸美術館 同館 ☎079-597-3961 ☎079-597-3967

第7回 心を届けるたんば 絵てがみコンクール 作品募集

家族や友人などの顔を思い浮かべながら、暮らしのひとコマなどを描いた絵てがみを募集します。◆テーマ=①一般の部: 宝物②高校生以下: なし ③出品料①1点当たり100円切手1枚(1人2点まで)②無料 ④12月28日(日)(消印有効)までに必要事項を郵送、直接持参で県立丹波年輪の里 〒669-3312 丹波市柏原町田路102-3へ ☎0795-73-0725 ☎0795-73-0727

麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動 10月1日(日)～11月30日(日)

薬物乱用は、健康上の問題にとどまらず、犯罪を誘発するなど周囲にも危害をもたらします。違法薬物は誰かに渡したり、持っていたりするだけでも厳しく罰せられます。誘われても、強い気持ちではっきり断りましょう。丹波健康福祉事務所 ☎0795-73-3771 ☎0795-73-0259